

IoT 高齢者みまも ROOM 事業の実施について

1 目的

ひとり暮らし高齢者等の社会的な孤立による在宅生活の不安解消を図るため、IoT 技術を活用して高齢者の見守り体制を拡充し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。

2 事業概要

(1) サービスの内容

① 高齢者見守りあんしん扉センサー事業 新規

自宅のトイレ等の扉に通信機能を備えたセンサーを設置し、扉の開閉が 24 時間ない場合、委託事業者が利用者へ電話で安否確認を行うとともに、家族等へメールで異常を通知する。併せて、利用者が、体調の不安等を電話又は Web 上で看護師等の専門職にいつでも相談できるよう、健康相談窓口 (24 時間 365 日受付) を設置し、必要な助言を行う。

② 高齢者見守りあんしんライト事業 継続

自宅のトイレ等の電球を通信機能と一体化した LED 電球に交換し、電球の点灯・消灯が 24 時間ない場合、家族等へメールで異常を通知する。また、メールを受けた家族等の依頼に応じて、委託事業者が代理訪問し安否確認を行う。

※①と②のサービスは、どちらか一つを選択して利用できるものとする。

(2) 対象者

区内に住所を有するおおむね 65 歳以上の者であって、次のいずれかに該当する者とする。

ア ひとり暮らしである者

イ 同一の世帯に属する者全員がおおむね 65 歳以上である者

(3) 利用料金

無料

(4) その他

本事業は、東京都の高齢社会対策区市町村包括補助事業を活用した実証実験として実施する。

3 今後のスケジュール (予定)

令和5年2月 厚生委員会報告

4月 区報・ホームページ等で周知

5月 事業開始

※高齢者見守りあんしんライト事業は、令和4年10月から実施済み。